



と、言っていたのに...

「国からの手厚い支援が  
得られている」(蒲島知事)

「熊本の被災者のために、  
何でもやります」(安倍首相)

# 前例のないスピードで 支援打ち切りは冷たい!

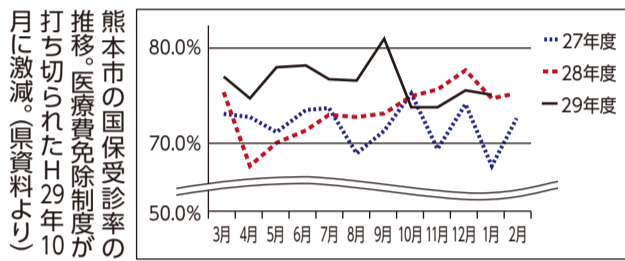
## 仮設入居延長に条件 医療費免除制度終了



一般質問をおこなう山本のぶひろ県議=6月15日

熊本地震からの再建支援策において、過去の大地震災害と比べても前例のない支援打ち切りが、被災者の苦しみ追い討ちをかけています。6月県議会の一般質問で日本共産党の山本のぶひろ県議が取り上げ、県の姿勢をただしました。

住まい再建の見通しが立たず、仮設入居期限の延長を希望しても(要件を満たさなければ)認めないという熊本県のやり方は前代未聞です。また、福島県や岩手県では東日本震災から7年が経過した今も継続している被災者向け医療費免除制度を、熊本県はたった一年半で終了。被災者の深刻な受診抑制や健康悪化の広がり懸念されます。



### 実質負担ゼロの特別立法 制定に背を向けた安倍政権

熊本地震には、東日本震災と同水準の支援はしないという国の姿勢が影を落とされています。県はあくまで国からの支援は十分得られていると言うのなら、冷たい支援の打ち切りはやめるべきです。

## 子どもの通学路安全確保へ

### 危険ブロック塀除去への支援などを提案

大阪北部地震で小学校のブロック塀が倒れ、9歳の女児が死亡する痛ましい事故が生じたことから、25日の建設常任委員会では、危険ブロック対策についての議論が交わされました。

山本県議は、ブロック塀の安全性点検について、市町村においては「専門家がいない」との不安の声があることや、全国の自治体の中には、国

からの補助を得て「ブロック塀等除去事業」を実施している地域がある事などを紹介。その上で、県内でも点検と安全対策の促進が図られるよう、市町村への情報提供と財政的、技術的支援を県から市町村におこなう、民有地も含めた、子どもの通学路の安全確保に万全を尽くすよう求めました。

### 容認できない児童手当差し押さえ

### 違法まがいの取り立て方針改めよ

### 禁止されている

### 児童手当の差し押さえ

子どもの養育のために国から支給される児童手当は、法律により、差し押さえてはならないことが定められています。これは、子育てに要する経費は、家庭の事情に関わらず保障されなければならないという、ごくあたりまえの常識的な考え方にもとづいています。

ところが、口座に振り込まれた児童手当を、親の税金滞納を理由に差し押さえたのが熊本県。「あくまで預金債権を差し押さえたのであって、児童手当を差し押さえたものではない」との理屈をこじつけています。今後も熊本県は、こうした立場を貫

くかまえます。山本県議は、県の言い分は裁判や

### 延滞者は、払いたくても払えない状況

### 提訴より寄り添った対応こそ

経済的理由により就学困難な人に対し、熊本県は学資を貸与して、就学を支援しています。ところが、催告などの支払いを求める通知をしても返還されない場合、熊本県は延滞者を裁判に訴えます。県議会には毎回、訴えの提起が諮られます。山本県議は、延滞者の多くが「払いたくても払えない」事情を抱えており、そうした方々を名指しし、勤務先への連絡や差し押さえなどの強

国会論戦で断罪されていることを指摘し、違法まがいの取り立てを改めるよう求めました。制執行もちらつかせながら、延滞返還金、延滞利息を一括して支払うよう求めると言うやり方は、ますます延滞者を追い詰めるものだと厳しく指摘。「今後、育英資金を使って就学の機会を得たいと考えている人も萎縮させることになりかねず、そうなる『学びと人生を応援する』はずの育英資金の主旨さえ損なわれる」と強調し、裁判に訴えるやり方に反対しました。

**強引な税金徴収に  
苦しめられていませんか?**

**違法な差し押さえ調査中**

**STOP 悪質差押え**

生活に欠くことができない財産は、差し押さえが禁止されているものがあります。「こんな強引な取り立てが許されるのか?」といった経験がおありの方のご相談を受け付けています。いつでもお気軽にご相談下さい。

県育英資金  
滞納者を訴え